



わかやま

No.9 1

和歌山県精神保健福祉センター 2022年5月

「開かれた精神科医療と福祉の展開をめざして」

和歌山県立医科大学医学部 神経精神医学教室教授 紀本 創兵

令和3年11月1日付けで和歌山県立医科大学神経精神講座教授を拝命いたしました紀本でございます。私は奈良県で育ち、奈良県立医科大学を卒業後、こちらに赴任するまでの間、精神科医として同大学附属病院に長らく勤務しておりました。隣県から参りましたので、大きく環境変化を感じることなく親しみを持って仕事を始めておりますが、これからはどうぞよろしくお願い致します。

さて、心の健康を育み、そして心の問題や心の病を支援していくためには、医療と福祉の連携は欠かすことはできません。すなわち医師、看護師、作業療法士、心理士、精神保健福祉士、薬剤師などと多職種チーム医療を実践し、医療機関のスタッフが他の医療機関、地域行政機関、保健所、訪問看護ステーション、地域生活支援センター、共同作業所、小中高等学校などのスタッフとも連携しながら協働作業を実践し、地域の精神科医療と福祉を支えていくことが重要となります。最近では、従来の心の病にとどまらず、自殺、児童虐待、ひきこもり、ギャンブルおよびゲーム依存などの新しい分野での心のケアが求められるようになっており、地域においては風通しの良い、間口を大きく広げた精神科医療と福祉の展開が必要とされます。そのなかで、私は県民の心の健康を考える上で、心の病の予防に重点を置いていきたいと考えています。この実践には、医療と福祉の連携の広がりや深みが重要となり、将来的には、

遠くの特異な医療機関に行かないと受けられないサービスではなく、学校や職場、町のコミュニティなどでも受けられるような、「より近い」ものとした精神科医療と福祉の実現を目指したいと考えています。



最後になりますが、病気や障害は医療や福祉で全てが解決できるものではないという謙虚な姿勢でいることも重要かと思えます。すなわち、今の科学（医学・医療）や社会制度（福祉）ではいくら努力しても届かない領域があるのも事実であると思えます。もちろんそれは諦めではなく、「もっと良くなるのか、頑張れることはないか」と考えることは必然という前提にはなりますが、私たち医療関係者、そして患者家族との対話を通じて、「できること」と「できないこと」について整理し、双方の理解を促していくことが、かえってよりよい生活の転帰につながることを経験します。総じて、私たちの目指す方向は、多職種および患者家族との協働による精神科医療と福祉の向上と発展です。今後、私もなお一層努力していく所存ですので、お力をお貸しただけますようお願いいたします。

◆◆「もくじ」は、2ページ下部にあります◆◆

シリーズ センター長だより ⑤⑩

和歌山県精神保健福祉センター

所長 小野 善郎



缶ビール1本だけですが・・・

最近では心拍数や呼吸数などの身体活動を記録できるスマートウォッチが普及し、スマートフォンで活動記録を分析できるようになって、健康管理にも役立っています。

写真は私のある日曜日の活動記録ですが、安静時の心拍数は55/分で、夕方17時ころから1時間ちょっとのランニング中に最大心拍157/分になっています。走った後はいったん心拍数は下がっていますが、19時ころから120台まで急上昇し、その後はランニングの後のようにすぐに下がるのではなく、ゆっくりと低下し、3時間経っても安静時のレベルまでは戻っていません(矢印)。この心拍上昇の原因は、夕食のときに飲んだ1本の缶ビール(350ml)です。私はアルコールに弱い体質ですが、この量で「酔った」という自覚はありません。でも、こうやって心拍数の上昇だけでなく、その影響が3時間以上も続いていることを見せつけられると、アルコールの身体への影響をあらためて実感させられました。たかが缶ビール1本ですが、酔いの効果はそれほどではなかったとしても、その影響は思ったよりも長く続くことがわかりました。アルコールのパワー恐るべし、ですね。



和歌山県精神保健福祉センター

〒640-8319 和歌山市手平二丁目1番2号

県民交流プラザ“和歌山ビッグ愛”2階

TEL (073) 435-5194 FAX (073) 435-5193

メンタルヘルスニュース

開催報告

【依存症啓発イベント 依存症への理解を深めよう】

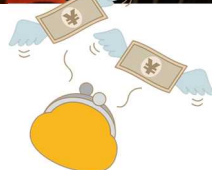
令和4年5月15日（日）にダイワロイネットホテル和歌山4階グランにて開催されました。ゲストに桂雀々師匠をお呼びし、死んでもギャンブルをやめられない幽霊がでてくる落語「へっつい幽霊」を演じていただきました。



後半には、和歌山大学教職大学院教授衣斐哲臣氏と、フリートークをしました。桂雀々師匠は、ギャンブル大好きな父親と生活を共にし、波乱万丈な少年時代を過ごしました。師匠より、自身の体験談をもとに「依存症はつい隠しがちだけど、オープンにしてまわりの人に助けを求める方がいい」とのメッセージをいただきました。



イベント終了後、イベントに同行された事務所社長より、師匠が「和歌山の人は根が明るくあったかい人が多いねん、ええとこや」と話していたとご報告いただきました。参加者は88名でした。当日の運営にご協力いただいた皆様、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



和歌山県精神保健福祉センターだより「わかやま」への掲載記事募集！！

日頃より、精神保健福祉の推進にご協力いただいている施設・団体の皆さまの活動紹介やPRなど、当センターだよりに掲載させていただき記事を募集いたします。

イベントや新しい取り組み等、広く周知させていただきます。

*センターだより発行時期：年4回（5月・8月・11月・2月それぞれの下旬）

*募集期間：随時（連絡先：和歌山県精神保健福祉センター）

*掲載時期や掲載枠については限りがありますので、まずはご相談ください。

開催案内

【新任者研修】

- 日 時 令和4年6月 9日(木) 10:00~16:20
令和4年6月10日(金) 10:00~16:00
※2日間通しての受講プログラムです
- 場 所 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛
12階会議室
(和歌山市手平二丁目1番2号)
- 対 象 保健所、市町村、精神科医療機関、相談
支援機関、障害福祉サービス事業所等に
おいて、精神保健福祉業務の従事経験が
3年未満職員
- 定 員 先着60名(初回申込みの方優先)
- 申込先 郵送又はFAXで県精神保健福祉センター
まで
- TEL:(073)435-5194 FAX:(073)435-5193
申込み締め切り 令和4年6月2日(木)

【薬物依存症対策県民向け講演会】

- 講 演 身近に潜む依存症
「思っていることが話せない人たち」
- 講 師 信貴山病院ハートランドしぎさん
臨床教育センター
センター長 長 徹二 先生
- 取組紹介 県精神保健福祉センター
- 日 時 令和4年7月3日(日) 13:30~15:30
- 場 所 和歌山県勤労福祉会館プラザホープ
多目的室
(和歌山市北出島1丁目5番47号)
- 対 象 どなたでもご参加いただけます
- 定 員 先着50名・入場無料

【精神保健福祉協会こころの集い講演会】

- 演 題 『ドキュメンタリー映画「夜明け前」
上映と今井監督からのライブ配信』
- 日 時 令和4年6月21日(火) 13:30~15:30
- 場 所 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛
1階大ホール
(和歌山市手平二丁目1番2号)
- 対 象 会員および一般県民
- 定 員 100名・入場無料(申込先着順)

ドキュメンタリー映画「夜明け前」



呉秀三先生

【思春期セミナー】

- 第1部 講演
「大学生の時期のこころの健康を人生のなかに
位置づける」(仮称)
講 師 精神科医 岩谷 潤 先生
- 第2部 トークセッション
精神科医 岩谷 潤 先生
ひきこもりとピアサポーターの経験者
大西 敦士 氏
精神保健福祉センター所長 小野 善郎
- 日 時 令和4年8月2日(火) 13:30~15:20
- 場 所 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛
2階会議室 201
(和歌山市手平二丁目1番2号)
- 対 象 どなたでもご参加いただけます
- 定 員 先着60名・入場無料

受講・参加にあたってのご注意

新型コロナウイルス感染症の蔓延状況により、講演会等
を中止する場合があります。当日、体温測定や問診票等
で体調チェックを行い、体調不良が認められる場合は受
講をお断りする場合があります。



和歌山県精神保健福祉協会の大募集

人がほっとしたり、笑顔になるような絵

1 募集内容

- (1) **対象者** 和歌山県内に在住、または通勤・通学している方であれば誰でも応募できます。
- (2) **規格**
 - ①見る人の心をあたためる絵であれば内容は自由
 - ②応募は自作で未発表の作品お一人一点まで
 - ③応募作品サイズは(最小)はがき大～(最大)画用紙四つ切り大
- (3) **応募期間** 令和4年9月9日(金)まで
- (4) **応募のしかた** 作品の裏に、氏名(ふりがな)、年齢(学年)、住所、学校名(勤務先)、電話番号を明記した用紙を貼った上、下記の和歌山県精神保健福祉協会「ほっとする笑顔つながるこころの絵」あてご応募ください。

2 入賞者

最優秀賞1名 優秀賞2名 入選若干名

※入賞された方には、賞状および副賞(図書カード)を贈呈。また、入賞された方には、10月下旬頃に文書にて連絡します。

3 表彰式

令和4年11月19日(土)に和歌山ビッグホエールで開催する「こころのフェスタ2022※」において表彰式及び入賞作品の展示をします。

4 その他

作品の著作権は主催者に帰属し、応募者の承諾を得ずに啓発用教材に使用することがあります。ご応募頂いた作品は、令和5年1月4日以降に和歌山県精神保健福祉センターまで取りに来ていただければ返却いたします(要連絡)。

また、入賞された方の氏名及び市町村名(在学中の方は学校名・学年)を発表します。予めご了承ください。個人情報については適正に取り扱い、本来の目的以外には使用しません。



こころのフェスタ 出演者募集!

わかやまこころのフェスタでグループの活動を紹介します。



日時 令和4年11月19日(土) 13:00~10分程度

※発表されるグループは、令和4年11月18日(金)のリハーサルに出演願います。

会場 和歌山ビッグホエール アリーナ

内容 グループ紹介や活動紹介と併せ、合唱や演奏、ダンス、手品などを披露

募集数 1グループ

締切 令和4年6月28日(火)

応募先 和歌山精神保健福祉協会

(和歌山県精神保健福祉センター内)

電話 (073)435-5194 **Fax** (073)435-5193



※こころのフェスタ2022は、ふれあい人権フェスタ2022・りいぶるフェスタ2022と共同開催致します。

精神保健福祉の第一線で働く関係スタッフの紹介コーナーです。

今回は、アンスーリール株式会社 就労継続支援 A 型 B 型事業所アンスーリールドサクラの本目淳朗（もとめあつろう）さんです。

はーとふるネットワーク



—「アンスーリールドサクラ」の意味、由来は何ですか？

上富田町で就労継続支援 A 型、B 型を運営している多機能型事業所です。『アンスーリール』はフランス語で笑顔という意味です。みんなが笑顔で過ごせるような場所でありたいという思い。『サクラ』は開花予想が発表されるくらい開花するのを心待ちにされます。サクラと同じように、事業所・利用者さんが開花する時を心待ちにされる存在でありたいという思い。この2つの思いを合わせて『アンスーリールドサクラ』という名前になりました。

—自己紹介や職業指導員になられたきっかけを教えてください

私は宮崎県出身で大学進学を機に和歌山県へ来ました。大学卒業後は化学薬品の営業の仕事をしており全国を駆け回っていた日々でした。ご縁があって就労継続支援の存在を知ることになるのですが、『福祉×就労』の組み合わせに対して難しさと同時に無限大の可能性を感じ、この仕事をやってみたいと思いき事業所の立ち上げから携わっています。



—具体的にどのような支援をされていますか？

仕事を外部からいただいた時に利用者さんが各作業にフィットできるよう特性を考慮しながら工程を考えています。日々の支援としては利用者さんの体調等を見ながら担当の割り振りをしています。

—支援に際して苦勞されることはありますか？

立ち上げ当初から予想していた『福祉×就労』の

バランスに難しさを感じています。支援の分野では利用者さんに寄り添ってじっくり取り組むことを心掛けていますが、就労分野では完全ビジネスで取引先からは効率のみを求められます。支援を最優先で考えていますが、バランスが偏り過ぎないように注意しています。

—支援する際、一番大切にしていることは？

お仕事の面で利用者さんの強みを最大限伸ばす機会を作ることを大切にしています。当事業所は色々な特性の方々が一緒に働いており、お仕事も多くの種類があるので、この方にはこの作業が合うかなと日々考えております。特性が活かせて利用者さんにピッタリのお仕事が見つかり、生き生きとお仕事をしている姿を見ている時は非常に喜びを感じます。

—今後の抱負について教えてください

和歌山県で工賃の一番高い事業所を目指します。
—最近のトピックや、はまっていることを教えてください

2022年から活動開始したサッカークラブの『南紀オレンジサンライズFC』を応援しています！『サッカークラブ×移住×農業』をテーマに活動されており、農業を中心とした仕事に取り組みながら地域活性化のために様々な活動をされています。私もこの仕事をするために紀南へ移住してきたので、同じ移住経験者として頑張ってもらいたいと思っています。これから和歌山を熱くしてくれること間違いなしのチームなのでホームページ、Instagramを是非チェックしてみてください。

—ありがとうございました。次の方のご紹介をお願いします

この4月から白浜町で開所されたキミト☆ミライ（就労継続支援 B 型）を運営している株式会社竹千代代表取締役社長谷正義さんです。竹あかりの活動や様々な取り組みを SNS で活発に発信しておられ、毎日チェックするのが楽しみです♪

それでは谷さん、よろしくお願いいたします。